

地域の達人 紹介します!

高浜市では、生涯学習基本構想のもと、学びを通じた人づくり・地域づくりを進めています。「地域の達人」と称して、地域で活動をしているいろいろなジャンルの達人の活躍する姿をより多くの方に知ってもらい、生涯学習のネットワークを広げていくため、毎月15日号で紹介していきます。



☆地域の達人とは…高浜市に在住、在勤、在学している方で、いろいろな特技や専門分野を持った方。

布絵(創作アプリケ)の達人 岩月 和子さん(青木町在住)

◆布絵を始めたきっかけを教えてください

50年近く前に、古布が絵具代わりに使われている布絵(創作アプリケ)(以下、布絵。)を名古屋で観て感動しました。当時、体調を崩していたころで、病気のことばかり考えないで何か趣味をもってみたいという周りの声と、難しそうだけれど、布絵の魅力にひかれて始めてみました。



岩月和子さん

◆長く続けていますが、どなたかに師事したのですか?

文化教室講師をされていた宮脇綾子先生です。先生は、終戦後、防空壕で助かった着物帯の再利用を考えられて、古布を絵具代わりにと布絵を考案されたそうで、海外でも多くの展覧会活動を行い、その独自の創作活動は高く評価されています。

◆布絵の魅力はどういうところでしょうか

型紙や図案などに頼るのではなく、自然から学び、自分で考えて工夫する、創作する楽しみです。縞柄の魚ができたり、縞模様の花ができたり、藍染め木綿の古布たちが蘇る魅力ですね。日常生活の中で、布を使って喜びや美を見出すことの幸せです。



▲いきいき広場ホールでの作品展示

◆海外でも活動をされたということですが

ある年に、トルコでワークショップを開催しました。こどもが茄子を見ながら布絵を作ったのですが、茄子の身の部分を赤色に、へたの部分を黒色の布を使って仕上げたのです。それを見て、こどもの感性は素晴らしいなあと感じました。

◆今後の目標や夢などを教えてください

「継続は力なり」と言われます。「あすなる」が目標ですね。もし命賜れば、あと3年で米寿となりますので、米寿88歳の作品展が夢です。一緒に作品づくりをしている布楽会のメンバーやたんぽぽグループ、その他の朋友に支えられて今日に至っています。これからも布と語りながら自然と語りながら続けていきたいと思えます。

文化協会に所属していますので、関心のある方は気軽に連絡してくださいね。



▲傘寿の記念作品と

生涯学習の取り組み一覧を紹介しています

市では、生涯学習の取り組みの一覧を、市公式ホームページで公開しています。市の事業や市民活動、ボランティア活動などの情報を共有することで、人と人、人と活動をつなぎ、市民活動の活性化を図りたいと考えています。

皆さん、ぜひご覧ください。また、市民活動団体の皆さんは、ぜひ登録をお願いします。

ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/bunka/>

問合せ先 市役所文化スポーツグループ ☎52-1111(内線331)

